

再評価結果（平成19年度継続事業箇所）

担当課：中部地方整備局都市整備課

担当課長名：田中 成興

事業名	きぬらおかざきせん 衣浦岡崎線		事業区分	街路	事業主体	愛知県
起終点	自：愛知県岡崎市福岡町 至：愛知県岡崎市上地町				延長	1.0 km
事業概要						
本路線は、衣浦臨海工業地帯から西尾市を経て、岡崎市に至る主要幹線道路です。現道である主要地方道岡崎碧南線は、岡崎市内においては、市街地を通過する狭小な道路で、周辺地域の市街化の進展に伴う交通量の増大に対処できない状況となっています。このため、このバイパスである衣浦岡崎線の整備により、都市機能の向上と慢性的な交通渋滞の解消を図るものである。						
H9年度事業化		H3年度都市計画決定		H9年度用地着手		H13年度工事着手
全体事業費		約77億円		事業進捗率		67% 供用済延長 0m
計画交通量		10,900台/日				
費用便益比	B/C (事業全体) 3.0 (残事業)	総費用 (残事業)/(事業全体) - / 84億円 事業費： - / 83億円 維持管理費： - / 0.67億円	総便益 (残事業)/(事業全体) - / 250億円 走行時間短縮便益： - / 238億円 走行費用減少便益： - / 9.9億円 交通事故減少便益： - / 2.1億円	基準年 平成18年		
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> ・都市の再生（DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する。） ・個性ある地域の形成（JR東海道本線により分断されている岡崎市の一体的発展が見込まれる。） 						
関係する地方公共団体等の意見						
地域分断の解消、市街地のより一層の発展のためにも地元岡崎市からも早期完成が望まれている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
現道は、比較的狭小な道路であるため、依然として慢性的な混雑がある。また、中部国際空港の開港により、中部国際空港、衣浦臨海工業地帯から西三河地域への交通ネットワークの早期強化が必要であり、渋滞緩和およびアクセス向上を図るため、当該区間が早期に完成することが期待されており、事業の重要性が増大している。						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
用地買収は約99%進捗している。 残事業は、用地買収1件、道路工事L=1,000m						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
用地交渉や代替地の選定等に時間を要したことから、事業が長期化した。すでに一部工事着手しております。用地買収を完了するために、引き続き用地交渉を進め、平成23年度末の工事完了を目標としている。						
施設の構造や工法の変更等						
新工法による大規模なコスト縮減はないが、再生材の使用等によりコスト縮減を図るとともに、「あいくる材」の積極的な活用等により環境負荷の低減に努める。						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考える。					
事業概要図						
						

